# マイ・タイムライン(風水害)

大雨や台風などの風水害から身を守るためには、ご自身が住む地域の災害リスクを知り、防災気象情報を基に迅速かつ適切に避難することが重要です。

事前にマイ・タイムラインを作成し、「避難スイッチ」をオンにするタイミングなどを整理しておきましょう。

### マイ・タイムラインの作成方法

1 我が家の災害リスクを知りましょう

P26~P53の洪水・土砂災害ハザードマップで自分が住んでいる地域が「河川氾濫(洪水)」や「土砂災害」の危険があるか調べてみましょう。 また、避難場所・避難所や避難経路も調べておきましょう。

2 非常時持ち出し品を決めておきましょう

P13の非常時持ち出し品を参考に、避難する時にご自身やご家族にとって必要な物を話し合って、備えておきましょう。男性15kg、女性10kg程度が目安です。感染症対策も忘れないようにしましょう。

3 情報収集方法を調べて備えましょう

適切な避難行動のためには、気象情報や河川水位、市から発令される避難情報等が大変重要です。また、停電やシステム障害などの発生に備えて、複数の情報収集ツールを準備しましょう。

4 警戒レベルと警戒レベル相当情報を理解しましょう

P1の避難情報を参照し、警戒レベル等について学習しましょう。

**⑤** 自分や家族の行動を決めておきましょう

1~4の手順で確認したことを参考に、どのタイミングでどのような避難行動を行うか、ご家族で話し合って決めましょう。

わが家の避難スイッチ! 警戒レベル3発令後に 必ず避難する!!



## 津久見市マイ・タイムライン

#### ▶ 早め早めの避難行動! タイムライン(時間軸) →→→

※警戒レベルと警戒レベル相当情報が発令・発表されるタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意

作成年月日:令和 年 月 日

行動者(対象者)/行動(対応)	【事前避難】	警戒レベル1 【早期注意情報】	警戒レベル2 明 【大雨・暴風・洪水・高潮注意報	警戒レベル3 【大雨・洪水警報・氾濫警戒情報等】	警戒レベル4 【土砂災害警戒情報・氾濫危隊 情報・高潮警報等】	情報·高潮氾濫情報等】				
本 人(氏名)  避難等支援者(氏名)  自主防災会等	を、がに宅等避しの防のをだいまでは、 生ら、がに宅等避しの防のをすいでる知施前勧が難主戦先とく 要認戒く戚宿のをすいで行ら。 事は会に知いができる。 がに宅等避しの防のをだいます。 がに宅等避しの防のをだいます。 がに宅等避しの防のをだいます。		るいうち、安全な時に早めの避難!	難に時間を要する方は早めの避難	電齢者等は危険な場所から避難!	● 全員避難完了!				
津久見市 津久見市では、警戒レベルにかかわら 避難ができるよう明るいうちから早る 高齢者等避難・避難指示等の発令を	<b>かの</b>	防災行政無線	注意喚起	[高齢者等避難の発令]	[避難指示の発令] 指定避難所の開設	【緊急安全確保発令】				

### 避難時確認事項及び配慮事項等一覧

●本人の状態・非常持出	②医療·福祉情報			3避難における配慮事項				
【本人の状態】		【非常持出品など】			■既往症等( )		【避難誘導時や避難先で必要な配慮等】	
移 動:歩ける・歩けない (歩行具)不要・杖・歩行器・車いす・その他		《その他必需品 □常備薬 □お薬手帳 □食料品		■医療·介護器具等:要・不要 ■補助電源等:要・不要			(アレルギーやペットの有無など)	
食 事:自分でできる・介助が必要 □入れ歯 視 力:見える・見えにくい・見えない □メガネ	□飲料 □毛布		□タオル □生理用品	■福祉専門		)		
聴 力:聞こえる・聞こえにくい・聞こえない □補聴器	□携帯	電話 □充電器	□お守りキット	■その他				
4自宅でのリスクの確認	<b>5</b> 緊急時連絡者·避難等支援者						6情報収集ツール	
●浸水ハザード あり・なし 想定浸水深( )r ●土砂災害警戒区域 入っている・入っていない ●近隣河川までの距離 ( )m ○自宅で垂直避難 する・しない (できる・できない)		氏 名	電話番号		住 所		個人情報共有	□津久見市防災メール
							同意・続柄( )	□津久見市公式LINE □防災情報電話サービス
自力で( )分 支援者有で(	)分						同意・続柄( )	<ul><li>□おおいた防災アプリ</li><li>□県民安心安全メール</li></ul>
→避難先の確認							│□宗氏文心文主バール │□テレビ	
●避難先①:( ) 徒歩・車( ) 後歩・車( ) 後歩・車(	)分 )分						同意・続柄( )	□ラジオ